



やまがた地域力共創

「論・楽・会」





「論」

= 黒沼貞志 =

<プロローグ>

ケーブルテレビ山形の取材

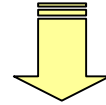


★ 「プロフィール（ホームページより）」 ★

- ◆ 1947.3 山形市生まれ・1965.4 山形東高校卒業・1969.3 山形大学工学部卒業・
1969.4 日揮(株)入社
- ◆ 総合エンジニアリング会社(日揮)に 30 年勤務し、企画・プランニング・基本設計・建設・
運転・プロジェクトマネジメント・営業などを通して海外および国内産業界の
各種ソリューション(課題解決)・プラント建設・運転などを担当
 - ◆ 1999.8 日揮(株)退職
 - ◆ 1999～SVAP アドバイザー、日揮(株)顧問、日揮情報システム顧問、
各種企業の新規事業支援業務
 - ◆ 山形にての試行期間を経て 2001.4(有)SKソリューションズ設立、
代表取締役就任し現在に到る
 - ◆ 2006.5 有限責任事業組合(LLP) 山形ふるさと企画舎設立(代表)

★ やまがた地域力共創「**論・楽・会**」への思い&プロセス ★

Uターンして山形で「産・学・官・民」に関わった7年(詳細略⇒HP参照)



【地域力】&【共創】というキーワード



セミナー・研修会・パネディスなどの手法を止揚する【**カフェ**構想(自由な空間と時間)】



「蔵 オビハチ」の発見

<<**One Coin 地域力 カフェ**>>



さらに加えて

五木玲子氏(五木寛之氏の配偶者)の原画に出会う@蔵 オビハチ

五木寛之氏の'70年代からの読者 ⇒ 鈴鹿8耐の写真撮影('97)

五木寛之氏の「論楽会」を知る



「論」

<メッセージ 1>



★ 「地域」蘇生へのプロセス ★

地域こそが 日本を蘇生できる！！

地域が元気であっての**グローバリゼーション**

地域蘇生 ≡ **ローカリゼーション**

車の両輪

小は小なりの「**在りよう**」がある

「適正規模 ≡ 人口減少」を逆手に取った地域づくり



<地域力> で都市化の流れに発信



「論」

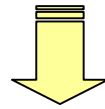
＜メッセージ 2＞



★ 「地域づくり」の潮流(プロトタイプ:標準型) ★

従来の「産・学・官」連携の<パラダイム・シフト>

『民』 ≡ 【地域力】の役割



<キーワード>

アウト・ソーシングからコ・ソーシングへ

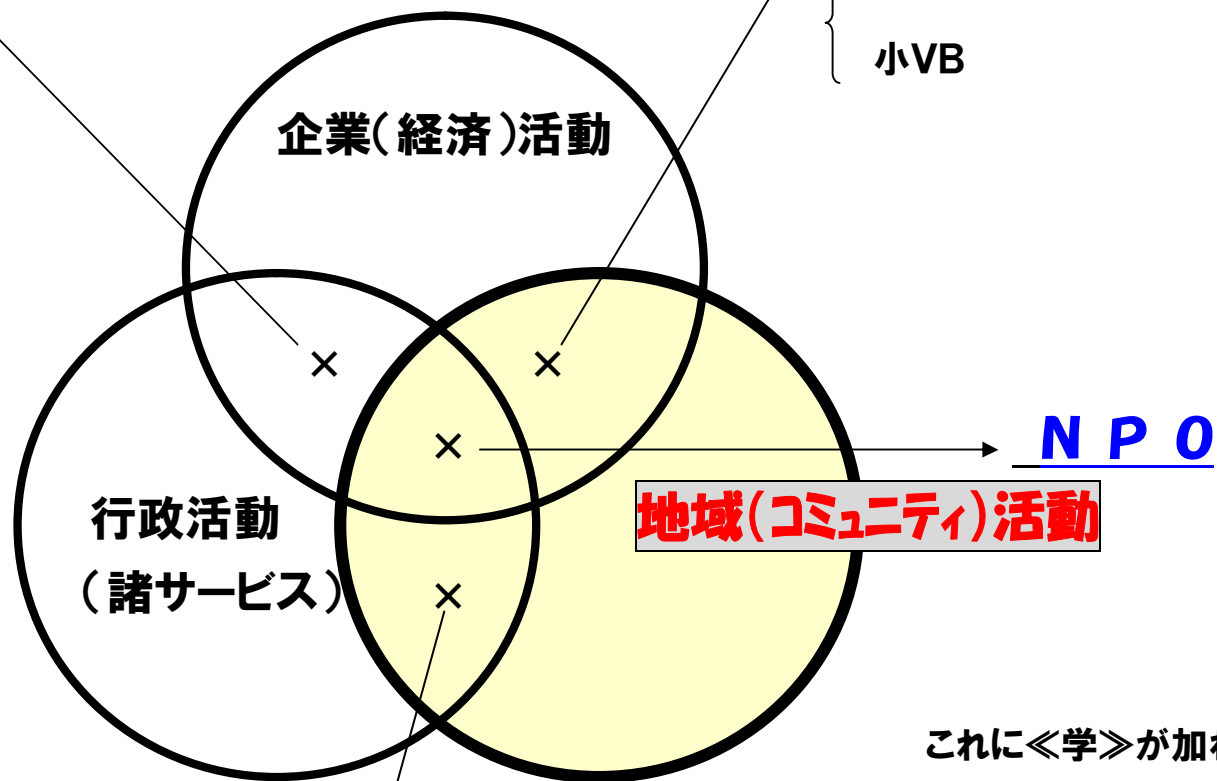
協働(コラボレーション)から共創(コ・クリエーション)へ

<地域社会を変える力(地域力)の相関>

(財)(社)(独)
3セク、PFI...

マイクロビジネス

SOHO、テレワーカー、CB
小VB



NPO

地域(コミュニティ)活動

ボランティア

これに<学>が加わる



「論」

<エピローグ>

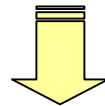
★ 「団塊のこだわり」とは・・・ ★

- 本質は群れることを良しとしない世代
- マイナー志向：マイナーゆえに価値あり？
- こだわるものに対しては集まり・行動する

私個人は「**歌・唄・うた**の世界」もマイナー志向

Jazz ⇒ ニューミュージック・艶(恨?)歌・・・

<<**山崎ハコ**>>その他との出会い



「民」領域のかかわりにて<<松田道雄氏・**丹波恵子氏**>>との出会い

(丹波氏も「ハコ」を唄っていた！・・・！)

丹波氏の唄・CDには**団塊世代**と地下水脈での「**繋が**い」を感じる